

## 第6回村づくり協議会報告

2019年6月1日 午後7時～  
豊和コミュニティセンター

### <報告事項>

#### 1 会報第3号の発行

○800部作製し、豊和地区の全世帯に配布した他に以下の施設などにおかせてもらった。

市役所(支所舎)、公民館、ふれあいセンター、ふれあいパーク八日市場、  
商工会議所

○予定場所として、市内の金融機関、豊和農協、大寺郵便局、

**\*小西歯医者さんも候補に出され、お願いすることになった。**

**\*SOSAプロジェクトを通じての配布も行う。**

#### 2 ホームページについて

○総会後に更新しました。トップの写真は飯塚の菅谷きぬ子さんのご協力。

○総会報告・議案と協議会の協議内容について掲載しました。今後、継続的に掲載していきます。

#### 3 今年度の「村づくり基金」の協力状況について

① 現時点での協力設備は、18設備、金額的には約300万円。

② 市民ソーラーさんにお問い合わせ中。

③ 今年度中に新たに設置される設備としては360Kwが建設されるほかに50Kwも数設備設置の見込み。年度内の基金の額としては、330万円程度になる見込み。

### <協議事項>

#### 1 犬屋敷後地のゴミの処理費用について

○環境保全会から要請。予算的には、2、3回分で24～35万円程度。

**\*要請どおり支出することとした。**

○県の環境課が現地視察にきて、今後の客土等による畑への復元について、環境保全会の要望も踏まえて検討するという事になっている。

## 2 民生主催の「いきいき百歳体操」について

- 飯塚地区の民生委員から協力が可能かの打診があった。
- 具体的な計画については、現在、保健推進委員や区役員などを含めて検討中とのことだが、実施のために必要な資金としては、DVDプレーヤーとモニター（テレビ）、椅子等とのこと。予算規模としては、15～25万円程度か？

**\*申請があれば助成していくことになったが、下記の様な意見が出た。**

**\*椅子はコミュニティーの物を活用できないか。短期で中止になると無駄になるのでとりあえずは市民エネルギーちばから借りて始め、継続するようであれば購入でもいいのでないか。**

## 3 当面、想定される支援活動・行事

- 以下の取組みについて、申請があれば助成することした。
- ① 「ホテルを愛でる会」・・・昨年は7月に実施。5万円を支援。
  - \*5万円の助成要請があり、承認された。
- ② ソラシェア収穫・・・11月実施。協議会として共催、30万円。
  - \*昨年までの実施主体から今年は実行委員会方式でやりたいとの意向が出された。当日のスタッフとして地元の有償ボランティアも考えているので昨年よりも15～25万位の増額要請があり、具体的な要請を待つて含めて検討していくことになった。
- ③ 豊和地区社協の「バスハイク」・・・昨年は11月実施。26万円を支援
  - \*社協として高齢者の中には遠くまで足を運ぶのが難しい人も増えているので変わるもので検討していきたいということで、具体的な申請を待つて助成する方向で行くことになった。

## 4 他の要望や支援すべき取組み

**\*特には上がってこなかった。**

## 5 テント管理と使用申請等について

- 小学校にある市の非常時備品保管庫に置いてある。保管は、市に了解をもらっており現状で可と思うが、管理の主体と使用する場合の手続きをどうするか。
  - \*豊和区として管理することが可能か、検討してもらうことになった。

## 6 地域から求められている活動や支援の把握について

- ① どんな問題や課題があるのか、住みやすい豊和にしていくために何が求められているのか、十分に把握されているのか。そのための住民アンケート調査を行ってはどうか。
- ② 実施するとした場合の進め方
  - アンケートの内容や方法等、具体的な進め方は、豊和地区社協、保健推進員、民生委員、老人会、青少年相談員などの地域で活動している団体や人を含めてつめていく必要がある。
  - 実施の目途としては、秋頃か。
  - アンケート用紙の印刷費用や集計のための費用などについては、村づくり基金から出す。  
**\*秋位までの実施を目途に具体的に進めて行くことになった。**

## 7 発電設備の非常時の活用について

- 災害時に豊和地区や匝瑳市内が大規模停電となった場合に、発電事業者の理解と協力があれば電力を地域に開放してもらい活用することが可能。その道筋を検討していく。
  - ① 活用できるようにするための設備の追加工事資金は基金で賄う
  - ② 運用・管理組織のあり方・・・市との連携含めて
  - ③ 実際に何が可能か
    - スマホ等の充電
    - 市のEVカーへの充電とそれを使つての避難施設への電気の供給
    - 発電設備の側であればAC100Vの機器を使うことは可能**\*継続して検討していくこととした。**

## 8 その他

- ① 次回会議      8月3日    午後7時      豊和コミュニティーセンター